

8人制管内市民サッカー大会 基本ルール説明

①	スローイン	タッチラインからボールが出た場合再度プレーをするために手で投げます。タッチラインからの直接ゴールに入った場合はゴールとして認められません。必ず他の競技者が触ってインプレーみなされます。また、投げ方については、代表者打ち合わせの際に、お教えします。
②	オフサイド	俗に言う待ち伏せ行為のことで、簡単に言うと相手競技者が自分の前に1名しかいない状態でボールをもらう行為のことで、ゴールキック、スローインの場合はオフサイドとなりません。あくまでもインプレー中での状態の場合オフサイドとなります。
③	ゴールキック	例えば相手のシュートが外れGKからボールがスタートする場合GKが蹴ってからインプレーとなります。この時どこに蹴っても構いませんが、直接相手ゴールに入った場合はゴールと認められず、相手ボールとなります。
④	スライディングタックル	ボールを奪おうとスライディングをすることです。足の裏を見せてのスライディングや、後方からのスライディング(ボールに先に触ったが相手にも接触した場合は)はファールの対象となりますので、審判のジャッジに従ってください。
⑤	審判	審判も人間ですので、何らかのミスが起こる場合があります。その場合でも文句を言うことなく審判のジャッジに従ってください。
⑥	間接フリーキック	ファールや行為に対して間接フリーキックになる場合があります。その際審判が左右どちらかの手を上げますのでゴールを狙うのであれば誰かに一度触ってからではないとゴールと認められません。
⑦	直接フリーキック	間接フリーキックとは違い直接ゴールを狙えることです。その時審判の手は上がりません。
⑧	ファール	サッカーは紳士的なスポーツなので基本的にはファールを犯してはいけません。しかし偶然的・もしくは故意に行った場合はファールをとられます。基本的なことは、GK以外手でボールを扱ってはいけません。相手選手を手で押してはいけません。相手選手を叩いたり、蹴ってはいけません。審判を含む誰に対しても暴言を吐いてはいけません。同じチームの人を叩いたり、蹴ったりしてはいけません。故意に時間稼ぎをしてはいけません。危険な行為を(危ないプレー)をしてはいけません。相手選手を抑えたり抱きついてはいけません。など
⑨	選手交代	選手交代は自由ですが、コート内に居る人が先に出てから交替する選手が入ります。それを逆にやってしまうとイエローカードの対象になります。また、交代ゾーンを用意していますので交代ゾーン以外で交代するとこれもイエローカードの対象となります。インプレー中の交代も可能です。
⑩	ランニングタイム	ランニングタイムとは審判の時計は止めずそのままプレーを続けていくことです。プレーが止まりすぎたり、怪我人がでた場合などは別です。
⑪	インプレー・アウトプレー	インプレーとはボールが常に動いている状態。アウトプレーとはボールが止まった状態(ピッチからボールが出た場合、ファールがあった場合等)
⑫	バックパス	バックパスとは味方チームからの足でのパスを、味方GKが手で触る、取る行為をした場合、触った場所(ゴールエリア内で触った場合は、一番近いゴールライン上から)相手チームに間接フリーキックが与えられます。

以上簡単ではありますが、チームの方々にも言ってください。また、わからないことがありましたら、大会当日の代表者会議にて質問等をして下さい。